

微生物と病気との関わりを知る

健康を考える上で、重要とされる医学検査知識として微生物と病気について調べてみましょう。

Index

I. 「微生物」、「感染症」の基礎を知ろう

「微生物」や「感染症」にはどのような種類や原因となる病気があるのか、予め基礎と概要を調べておくと、応用を調べる際、キーワードを考えやすくなります。さまざまな視点から用語を理解しながら、知識を深めましょう。

II. 関連する図書を探そう

まずは入門的な図書からスタートして、本を読みながらキーワードを広げたり、絞り込みを行ったりして軌道修正しつつ、探索を進めましょう。

III. 新聞記事を探そう

主に社会的な動きの最新情報は、新聞からも得られます。

IV. 雑誌記事を探そう

学術雑誌の他にも、一般雑誌にも特集が組まれていることがあります。雑誌記事・雑誌論文を見ることで、研究の最前線、社会との関わり、一般の関心の方向を調べることが出来ます。

V. インターネットで探そう

オンライン上には、様々な有用サイトが存在しています。情報収集の際には、検索エンジンなども活用してみましょう。

VI. さらに専門的な情報を探してみよう

1. 「微生物」、「感染症」の基礎を知ろう

「微生物」や「感染症」にはどのような種類や原因となる病気があるのか、予め基礎と概要を調べておくと、応用を調べる際、キーワードを考えやすくなります。さまざまな視点から用語を理解しながら、知識を深めましょう。

はじめの一步のキーワード

授業のテーマから、さまざまなキーワードを工夫して分野を広げたり、絞り込んでみましょう。まずは、関連しそうなキーワードを考えてみましょう。

キーワードの一例	食中毒 (food poisoning)、微生物(microorganism)、ピロリ菌(Helicobacter Pylori)、インフルエンザ ウイルス(Influenza virus)、変異 (mutation)、肝臓 (liver)、胃 (stomach)、検査法 (inspection method)、細菌 (bacillus)
----------	---

これ以外にも色々なキーワードを工夫してみましょう。情報を探している途中で、新たな関連語を見つけて追加・方向修正していくことで、検索の幅が広がっていきます。

概要を知るための事典・辞典

上で挙げたキーワードなどを、実際に事典で確認してみましょう。



インターネット・DB

タイトル Japan Knowledge+

リンク先 URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html

ひとこと紹介 「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「現代用語の基礎知識」「imidas」「Encyclopedia of Japan」ほか英和・和英辞典等をオンラインで検索できます。同時アクセス数は4。使い終わったら必ず[ログアウト]してください。

2. 関連する図書を探そう

まずは入門的な図書からスタートして、本を読みながらキーワードを広げたり、絞り込みを行ったりして軌道修正しつつ、探索を進めましょう。

ブラウジングで基礎的な図書を探しましょう

直接、図書館の棚に行って、関連分野の分類番号を中心に探してみよう(ブラウジング)。

附属図書館の利用案内を見れば、分類表や中央図書館の資料配置が分かります。
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/index.html>

関連語	分類番号
食中毒(food poisoning)	493.157
微生物(microorganism)	465
細菌(bacillus)	491.7
インフルエンザウイルス(influenza virus)	493.87
検査法(inspection method)	492.1

この分類以外にもあちこちに関連する本が配置されています。
是非、OPACのキーワード検索で眠っている資料を探してみよう！

OPACで図書を探しましょう

オンライン目録(OPAC)で、名古屋大学の蔵書を調べることができます。
先に挙げた「キーワード」などを入力して検索してみましょう。

調べ方がわからない時は、ガイドシートリスト(OPACやデータベースの使い方)があります。
<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/gsheets/index.html>



インターネット・DB

タイトル OPAC(名古屋大学蔵書検索)
 リンク先 <http://opac.nul.nagoya-u.ac.jp/webopac>
 URL
 ・名古屋大学の蔵書を調べることができます。
 ・調べ方がわからない時は、ガイドシート(OPACやデータベースの使い方)もあります。

ひとこと紹介

国内で刊行されている図書を探しましょう

名古屋大学所蔵の図書に加え、国内の図書館などで所蔵されてる図書を探す場合は、以下のデータベースを使用してみましょう。

名古屋大学で所蔵していない図書は、取り寄せて借りることもできます。
所属別申込先一覧をご覧ください。(公共図書館の場合は中央図書館へ。)

<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html>



インターネット・DB

タイトル Webcat Plus

リンク先 URL <http://webcatplus.nii.ac.jp/>

ひとつこと紹介 全国の1,000以上の大学図書館等が所蔵する図書や、新刊書の情報を、内容・目次データから検索できます。
また関連ワードが表示されるので、検索しながらキーワードを検討できます。



インターネット・DB

タイトル 国立国会図書館 NDL-OPAC

リンク先 URL <https://ndlopac.ndl.go.jp/>

ひとつこと紹介 国立国会図書館(NDL)が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。
(国内で発行されたすべての出版物は、NDLに納入することが義務づけられています。そのためNDLは、国内の刊行物についてのデータを豊富に持っています)
○図書や雑誌の検索 →「一般資料の検索/申込み」をクリック
○雑誌に載った論文を検索 →「雑誌記事索引の検索/申込み」をクリック



インターネット・DB

タイトル 愛蔵くん(愛知県内図書館 横断検索)

リンク先 URL http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm

ひとつこと紹介 愛知県内の市町村立図書館等の所蔵を一括検索できます。大学図書館よりも、より平易な一般書の所蔵が多くなっています。

入門的な図書を読んでみましょう

以下に挙げた図書は、授業のテーマの基本となる図書です。

図書の章末や巻末に掲載されている参考文献などから、更に関連図書も探してみましょう。



タイトル 微生物：感染と病気のポイント 講義ノート
著者名 高野利也¹著, 高野利也(1935-)
ひとつこと紹介 中央学3Fにあり



タイトル スタンダード微生物学：保健微生物学・感染症学
著者名 土肥義胤, 山本容正, 宇賀昭二²編, 土肥義胤(1941-), 山本容正(1948-), 宇賀昭二(1949-)
ひとつこと紹介 医分館にあり



タイトル 微生物と感染症
 著者名 岩本愛吉||編, 岩本||愛吉 (1950-), 日野原||重明 (1911-), 井村||裕夫 (1931-)
 ひとこと紹介 医保健開架にあり



タイトル 微生物学・感染症学
 著者名 土屋友房||編, 土屋||友房(1945-)
 ひとこと紹介 中央学3Fにあり



タイトル わかりやすい微生物・感染症学
 著者名 青木眞, 佐竹幸子, 柴田清||編, 青木||真(1953-), 佐竹||幸子(1949-), 柴田||清
 ひとこと紹介 医保健開架にあり



タイトル イラストレイテッド微生物学
 著者名 Richard A. Harvey, Pamela C. Champe, Bruce D. Fisher|[著], 山口惠三, 松本哲哉||
 監訳, Harvey, Richard A. , Champe, Pamela C. , Fisher, Bruce D. , 山口||惠三
 (1945-), 松本||哲哉
 ひとこと
 紹介 中央学3Fにあり



タイトル 微生物学／臨床微生物学
 著者名 岡田淳, 設楽政次, 森田耕司, 長沢光章, 渡邊邦友, 宮治誠, 阿部美知子, 山根誠久, 高橋
 信二||著, 岡田||淳(1945-), 設楽||政次, 森田||耕司
 ひとこと
 紹介 医保健開架にあり



タイトル 臨床微生物検査ハンドブック
 著者名 小栗豊子||編, 小栗||豊子
 ひとこと紹介 医保健開架にあり



タイトル 新・カラーアトラス微生物検査
 著者名 山中喜代治 ||編, 山中 ||喜代治
 ひとこと紹介 医保健開架にあり



タイトル 新細菌性食中毒
 著者名 辺野喜正夫, 善養寺浩||著, 辺野喜||正夫(1915-), 善養寺||浩(1918-)
 ひとこと紹介 医保健開架にあり



タイトル 新型インフルエンザ・クライシス
 著者名 外岡立人 ||著, 外岡 ||立人(1944-)
 ひとこと紹介 中央学3Fにあり



タイトル ウイルスの臨床検査
 著者名 日沼頼夫||編集企画, 日沼||頼夫(1925-)
 ひとこと紹介 医分館にあり

3. 新聞記事を探そう

主に社会的な動きの最新情報は、新聞からも得られます。

これらの新聞は、学内のLANにつながっているPCで、附属図書館のサイトのデータベースのページから使うことができます。読むだけでなく、記事検索も可能ですので是非活用してみましょう。



インターネット・DB

タイトル 聞蔵IIビジュアル

リンク先

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#KIKUZO2>

ひとこと紹介

朝日新聞のオンライン記事データベースです。創刊(1879年)からの記事を検索できます。AERA(1998年5月(創刊号)-)、週刊朝日(2000年4月-ニュース面)、現代用語「知恵蔵」最新版も検索できます。学内限定です(同時利用可能ユーザー数は1名)。必ず、[ログアウト]ボタンで終わってください。



インターネット・DB

タイトル 日経テレコン21(学内限定)

リンク先

URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbetc.html#NK21>

ひとこと紹介

日経4紙『日本経済新聞』、『日経産業新聞』、『日経流通新聞MJ』、『日経金融新聞』の記事が収録されています。その他、企業検索「日経会社プロフィール」、人事検索「日経Who's Who」なども利用可能です。



インターネット・DB

タイトル 中日新聞・東京新聞記事データベース

リンク先

URL http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html#CHU

ひとこと紹介

中部地方の情報をくまなくカバーする中日新聞(1987~)のデータベース。学内限定、同時アクセス数は1名です。終了したら必ず[ログアウト]ボタンを押してください。

4. 雑誌記事を探そう

学術雑誌の他にも、一般雑誌にも特集が組まれていることがあります。雑誌記事・雑誌論文を見ることで、研究の最前線、社会との関わり、一般の関心の方向を調べることが出来ます。

以下に挙げた代表的なデータベースで、雑誌論文を検索してみましょう。

見つかった雑誌を名古屋大学で所蔵していない場合は、コピーを取り寄せることもできます。所属別申込先一覧をご覧ください。(http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide/ILLplace.html)

調べ方がわからない時は、図書館サイト「論文を探す」をご覧ください。(http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/guide_c/guide/search/4.html)



インターネット・DB

タイトル CiNii Articles (サイニイ) (一部の本文は学内限定)

著者名 国立情報学研究所

リンク先 URL <http://ci.nii.ac.jp/>

ひとつこと紹介 国内で刊行された雑誌記事を探すことができます(主に学術雑誌・大学紀要・学会誌)。一部の雑誌については、論文全文をダウンロードし閲覧することができます。NULinkが利用できます。



インターネット・DB

タイトル 国立国会図書館 NDL-OPAC

リンク先 URL <https://ndlopac.ndl.go.jp/>

ひとつこと紹介 国立国会図書館(NDL)が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。(国内で発行されたすべての出版物は、NDLに納入することが義務づけられています。そのためNDLは、国内の刊行物についてのデータを豊富に持っています)
 ○図書や雑誌の検索 →「一般資料の検索/申込み」をクリック
 ○雑誌に載った論文を検索 →「雑誌記事索引の検索/申込み」をクリック



インターネット・DB

タイトル 大宅壮一文庫雑誌記事索引検索 Web版 (学内限定)

リンク先 URL <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/dbjapanese.html#oya>

ひとつこと紹介 豊富な内容とユニークな切り口で知られる、雑誌専門図書館・大宅壮一文庫の雑誌記事索引のWeb版です。週刊誌、総合月刊誌、女性誌など現代ジャーナリズムの最先端をいく「マガジン」の記事情報が検索できます。1988年以降最新まで、約400誌から採録。学内限定で、同時アクセス数は1名です。



タイトル 医中誌Web (学内限定)

著者名 医学中央雑誌刊行会

インターネット・DB

リンク先
URL http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/db/detail_j.html#ichushi

ひとこと
紹介 「医学中央雑誌」(1983～)をWeb上で検索できます。収録範囲は、国内で発行されている医学・歯学・薬学およびその関連領域です。同時アクセス数は10名です。NULinkが利用できます。

5. インターネットで探そう

オンライン上には、様々な有用サイトが存在しています。情報収集の際には、検索エンジンなども活用してみましょう。

研究所や大学等、公共的な機関のサイト

- 国立感染症研究所 感染症情報センター
- <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

感染症に関する一般的な情報が掲載されている。特定の感染症(新型インフルエンザなど)についての説明もあり。

- 厚生労働省
- <http://www.mhlw.go.jp/>

公衆衛生に関連した法令や通知が掲載されている。

- 日本細菌学会
- <http://www.nacos.com/jsbac/>

学会が刊行している「日本細菌学雑誌」,「MICROBIOLOGY AND IMMUNOLOGY」をJ-STAGEへのリンクで見られる。

- 日本ウイルス学会
- <http://jsv.umin.jp/index.html>

学会が刊行している学会誌「ウイルス」(2002～2008年まで)の巻号ごとに全文が掲載されている。

- 日本感染症学会
- <http://www.kansensho.or.jp/index.html>

感染症関連の情報のほか、学会の抄録集(2008～2009年)が掲載されている。

一般的なサイト

代表的な検索エンジンは、以下の2つが挙げられる。

Google (<http://www.google.co.jp/>) キーワードでの検索が豊富。GoogleScholarでは、学術論文を中心に検索も可能となっている。

Yahoo! (<http://www.yahoo.co.jp/>)カテゴリごとの検索が充実。探したい分野別に情報を探すことが可能となっている。

- 検索エンジンを使う時は、それぞれの特徴を調べて効果的に使いましょう。
- Yahoo!では、カテゴリの上または横のレベルも見ながら関連情報を探してみましょう。

得られた情報は、必ず発信源を確認して、その信頼性を吟味しましょう。また、複数の情報源で確認し、活用方法を考えましょう。

6. さらに専門的な情報を探してみよう

発展的な探索のために

専門的な英語論文をWeb of SCIENCEやScienceDirectなどの文献データベース使って、調べてみましょう。これらに加えて、さまざまなデータベースも試してみましょう。



インター
ネット・DB

タイトル Web of Science (学内限定)

リンク

先 http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/db_details.html

URL

ひとこと紹介 全分野(自然科学、社会科学、人文科学)を対象に、引用率の高い学術雑誌に掲載された論文が検索できる引用文献データベース。通常の論文検索のほか、引用文献から検索したり、関連する論文を検索したりすることができます。NULinkが利用できます。